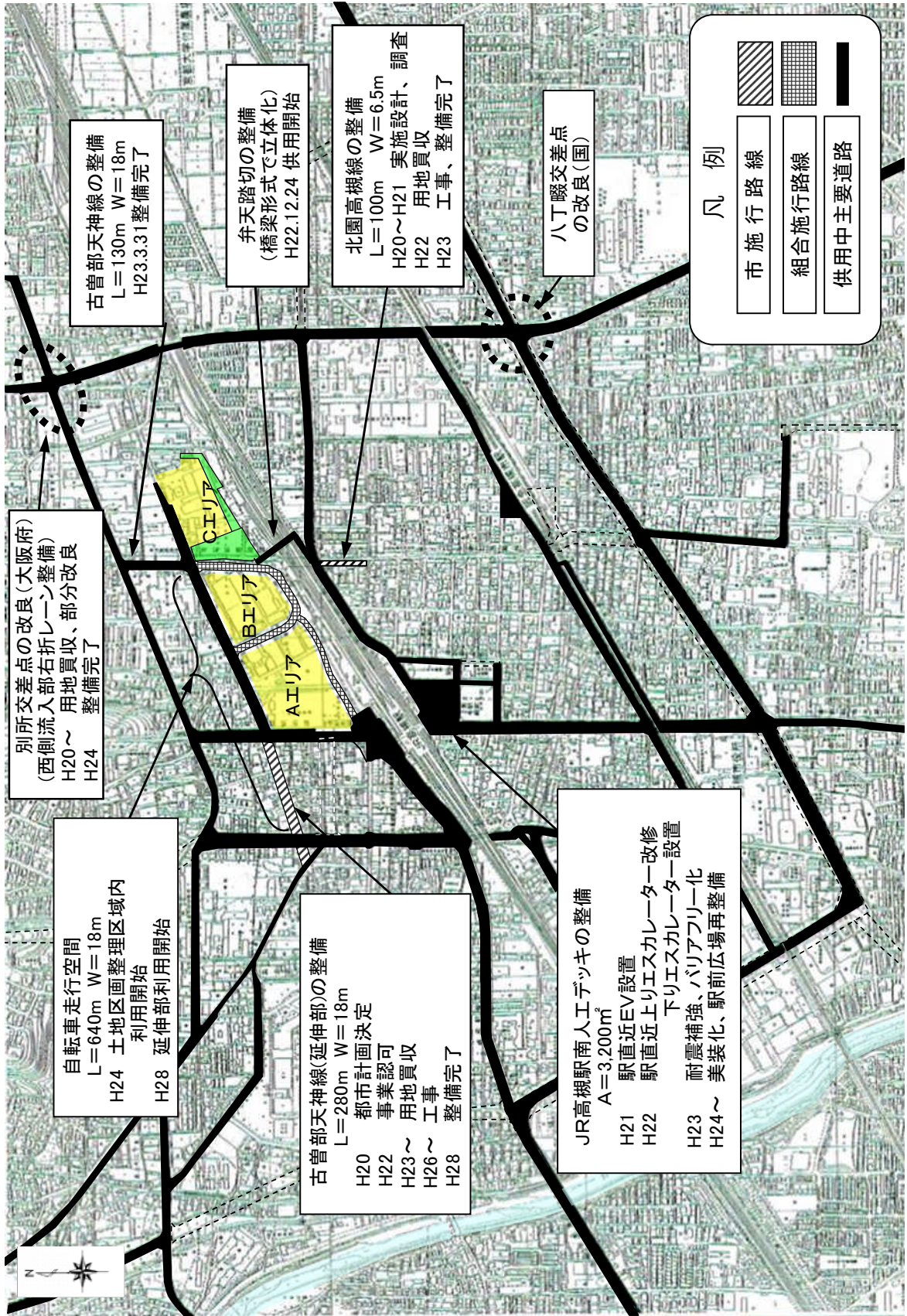


4 周辺道路等整備

1 周辺道路整備計画



2 JR高槻駅にかかる取組状況

(1) JRの考え方

- ホームにかかる課題解消をJR単独で実施することは困難であり、国等からの補助金があることで具体化に向けた社内調整が可能
- あわせて、JRが所有する駅および駅周辺の既存資産の有効活用を図ることで、トータルとしての駅の魅力と活力向上を図る
- 事業の具体化に必要な事項について、JRと市の間で速やかな意思決定が必要

(2) 事業イメージ

工 期	設計：約1年 工事：約3年
事業内容	配線変更工事：軌道撤去・新設、分岐器撤去・新設、電気設備移転 ホーム改良工事：ホーム設置、上屋撤去・新設、電気設備工事 昇降設備工事：駅舎改築、昇降設備設置

(3) 活用可能な国補助制度

名 称	都市交通システム整備事業
補助対象	公共空間等の整備に関する事業～路面電車・バス等の公共交通に関する施設の整備（公共交通に関する停留所、車両基地等）のうち実施設計・施設整備にかかる費用
負担割合	国は地方公共団体が当該事業を行うものに対する費用の2分の1以内で、かつ当該費用の3分の1以内を補助

(4) 本市の考え方

- JR西日本と検討・調整を進め、ホーム拡幅の具体化に向けて取り組む。
- 上記を踏まえ、事業の具体化に向けた基本的な事項について、市とJRの間で速やかに合意形成を図る。